

# ホクコーリゾレックス®粉剤

■種類名：トルクロホスメチル粉剤  
 ■有効成分：トルクロホスメチル-----5.0%

■登録番号：第16886号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
 ■登録初年：1987.10.21  
 ■性状：類白色粉末 45μm以下  
 ■有効年限：4年  
 ■包装：3kg×8袋、20kg×1袋

## 【特長】

- リゾクトニア病害に卓効を示す土壌混和処理剤。
- 各種野菜の苗立枯病、根菜、葉菜類のリゾクトニア病に有効。
- は種または植付け直前に使用可能。

## 【適用内容】(2015年11月11日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルクロホメルを含む農薬の総使用回数
ピーマン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	土壌混和	4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種前の土壌混和及びは種時の土壌灌注は合計1回以内、株元灌注は2回以内)
トマト、なす きゅうり						1回
うり類(漬物用)						
ほうれんそう	株腐病	20~40kg/10a	定植前	全面土壌混和	2回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、株元灌注は1回以内)	
みずな	尻腐病	30kg/10a				
ふき	白絹病	20~40kg/10a				
ねぎ		20~30kg/10a	土寄せ前 但し、 収穫14日 前まで	3回 以内	株元散布	3回以内
	リゾクトニア 葉鞘腐敗病	30kg/10a				
みつば	立枯病	20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	2回以内 (は種前の土壌混和は1回以内)
麦類	雪腐小粒菌核病	3kg/10a	根雪前	2回 以内	散布	2回以内
そば	立枯病	20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20~40kg/10a				
にんじん	根腐病					
ごぼう	黒あざ病					
うど	白絹病	3g/株	根株養成畑 定植前	1回	根株粉衣	3回以内 (粉剤は1回以内、 水和剤は2回以内)
とうがん	実褐斑病	30kg/10a	収穫45日 前まで		土壌表面散布	1回
だいおう	苗立枯症	150g/10a分の突起 板使用覆土約12 $\frac{1}{2}$ cm	は種前		ペーパーポット用の覆土に均一に混和	
チューリップ スイトピー	葉腐病 腰折病	10~20kg/10a	植付時		土壌混和	
シクラメン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	50kg/10a	定植前			
花き類・ 観葉植物	立枯病					

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トルコハチルを含む農薬の総使用回数
てんさい	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	125～250g/10a 分の 用土約 280 ㍓	は種前	1 回	ペーパーポット 用の用土 又は覆土 に均一に 混和	6 回以内 (育苗土壌への混和は 1 回以内、500 倍希釈 灌注は 1 回以内、100 倍希釈灌注は 1 回以 内、散布は 3 回以内)
		75～150g/10a 分の 覆土約 20 ㍓				
		50～100g/10a 分の 突起板使用覆土 約 7 ㍓				

#### 【効果・薬害等の注意】

- てんさいの苗立枯病防除に使用する場合、ピシウム菌、アツナマ化入菌、フザリウム菌に起因する苗立枯病には効果が劣るので、これらの菌が優占する圃場での使用はさけること。
- 野菜類の苗立枯病防除ではリゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るのでそれらによる苗立枯病の混発が予想される場合には、他の有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- ほうれんそうの株腐病防除に使用する場合、多発生条件では効果がやや劣ることがあるので、所定範囲での多い薬量を土壌混和すること。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本薬剤を施設で使用したあと、施設内に臭気が残る場合には換気を行うこと。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋などを着用すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。